

オオジシギ（シギ科） 全長30センチ

9月に入ると、広大な田んぼが徐々に黄金色に染まってきた。

そんな中、一足早く刈り取りしていた田んぼがあった。刈り取った稲をロール状に巻き取り、牛の飼料用に保存するホールクロップサイレージである。刈り取り後の田んぼに雨水がたまり、一部分が水張り水田になっていた。

9月7日、渡りの途中に立ち寄ったのでしょうか、オオジシギ3羽が餌探して忙しく歩き回っている。警戒心が強くて簡単には近づけないので、離れた場所から眺めることがほとんどでした。



2羽が並んであぜ道をつついている。

しかし、今回は車でゆっくりと近づいたが逃げ去ることもなく、ついに10メートル以内になった。初めてオオジシギのどアップ写真が撮れました。十分に思いの映像が撮れたことから、長居はせずにその場を去ることにした。



水辺は土が柔らかいので、餌を探しやすいでしょう。



脚を半分くらいまで沈ませながら餌探し。



ミミズや小さな昆虫でしょうか。



光彩まで写っている。